

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	フードくじら
資金分配団体名:	一般社団法人全国食支援活動協力会
実行団体名:	学習支援ひろば「くじら寺子屋」
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	沖縄県
事業対象者:	一人親家庭、多子家庭、コロナの影響を受け困窮している家庭、問題や困難を抱える子どものいる家庭、及び、子どもの居場所など子どもの支援をしている団体

Version 3.2
日付: 2022年3月22日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>コロナの影響で困窮している家庭、ひとり親家庭、多子家庭の方たちに食料品を受け渡す。</p> <p>沖縄県ランチサポートとオリオンペーカリーの協力により毎週月曜日と金曜日は個包装のパンの配布ならびに寄贈された食料品の配布。小中学校の給食が無い登校日に無料のお弁当配布。夏休み中の無料のお弁当配布を行う。</p> <p>昨年度実施した結果、食糧受取希望者と無料のお弁当受取希望者が異なるニーズを持っている場合がある。特に無料のお弁当希望の家庭の中には、日常的に食事の回数が少ないことがあり児童にとって必要である。対して、食糧の受け取り希望の家庭は経済的困窮が見られる。よってどちらの活動も必要である。</p>
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>コロナの影響で想定していた活動より大幅に支援がふえました。お弁当の無料配布を週2回、コロナの影響による休校時には毎日配布しました。おきなわ子ども未来ランチサポートからの受け取り、全国食支援活動協力会からの食糧の支援をうけ、平日毎日食糧支援を行うことが出来ました。</p> <p>例年のくじら寺子屋の登録者数は150名程度（小学生～高校生）だったのが、今年度は250名を超えています。この人数には未就学児や保護者、利用者の兄弟などが含まれていない人数です。コロナの影響を実感します。</p> <p>冷蔵、冷凍庫等の備品を設置した居場所についても支援が必要な方からの声が多くなっています。</p> <p>事業計画より冷凍庫等を設置したいという希望が最終的に増えてしまい、要望に答えられなかったのが計画が甘かったと感じました。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
中間支援者	事業実施上の困難	<ul style="list-style-type: none"> 子供の居場所への冷凍庫・冷蔵庫の貸与 子供の居場所への台車の貸与 →子供の居場所の充足 	<ul style="list-style-type: none"> 子供の居場所 5か所以上への冷凍冷蔵設備や保管棚の貸与 	<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫、冷凍庫合わせて5台貸与 居場所連携20か所 	<ul style="list-style-type: none"> 5か所に設置（1か所は大型の棚） 連携居場所数18か所 	<p>台車の要望は少なく、冷蔵庫も当初は反応が鈍く感じました。呼びかけをしていくうちに希望者が増え結局1月を過ぎて予算を使い切った時に要望が出てきてしまいました。コロナで居場所同士の交流をとる機会が少なかったことも要因だったと感じています。</p>
子ども・学生	食料関連の不足	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所の冷蔵冷凍設備の強化 当事業所での食品補完体制の強化 →ハブ拠点としての食品保管能力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所 冷蔵冷凍設備購入 食品庫購入 食品保管部屋を設定 ハブ拠点として沖縄県内の他居場所へ食品の配達（10か所以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 食糧配布40回以上 食料受け取り50回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 食糧配布64回（毎食60食以上配布） 食糧受取137回 他の場所への食糧配布実施数：37回 	<p>コロナ休校による食糧支援が想定以上にあり、最大限の支援が出来たと思います。食料の寄贈も例年より多かったので、冷蔵庫や棚を整備しておいてとても助かりました。冷凍食品類を当施設で預かり必要な時に取りに来る居場所もあり活用されています。居場所立上の相談と共に物資の提供をすることが出来ました。</p>

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	県内の子供の居場所事業所の繋がりを強化し、県内の子供の居場所の活動の基盤強化をする。県内の様々なサポートの情報を共有し、助け合える状態を作る。
考察等	他の居場所の方が見学に来ることも増え、居場所の立上げや運営の相談がとて多い一年でした。立上げで物資が少ない居場所をサポートすることが出来ました。また、県社協や沖縄市以外の社協とも繋がりが増え、サポート出来る事が増えました。個人事業主の方からの直接の物資の寄贈も多かったです。社協や市役所の紹介で子どもの居場所を立ち上げたい方や運営に行き詰っている方が見学にくることが多かったです。

V. 活動

活動	進捗	概要
・居場所の訪問 希望調査	ほぼ計画通り	物資を届けることが多かったので訪問も多くなりました。相談しに来館して頂けることも多かったです。北部の団体にアポイントを取りたかったのですが、つながることが出来なかったです。
・食糧の受け取り ランチサポート	計画通り	想定以上の活動が出来ました。おきなわ子ども未来ランチサポート、沖縄市社会福祉協議会・那覇市社会福祉協議会、JAおきなわ、ケンタッキーフライドチキンなど寄贈品の受取が多かったです。
・食糧の配布 居場所	ほぼ計画通り	繋がっている居場所にはLINEで連絡をとり、希望されたところには届けに行きました。ただ、食事支援をストップしている団体も増えていたので希望される団体自体が想定より少なかったです。冷凍庫が増えたことで一時的にこちらでストックして必要な時に受け取りにくる団体も増えました。
・冷蔵庫・冷凍庫、食料棚、台車などの貸与	計画通り	棚の希望は想定より多かったですと感じました。大型の冷蔵庫と棚を多く設置したので予算がふくらんでしまいました。台車の希望はありませんでした。
・くじら寺子屋 冷蔵庫・冷凍庫、食料棚、台車などの購入	計画通り	充実した支援が出来る環境を作ることが出来ました。
・無料のお弁当配布	計画通り	計画より大幅に多い配布が出来ました。
・食料品配布	計画通り	計画よりも大幅に多く支援出来ました。
・情報公開 HPの作成 SNSへの発信	遅延あり	支援者数が増えすぎて、情報公開をすると支援のキャパオーバーが懸念され、情報公開は控えめにしていました。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

<p>想定外のアウトカム、活動、波及効果など</p>	<p>くじら寺子屋の別事業で行っている無料のプログラミング教室がテレビ、新聞で取材されたのをきっかけに沖縄県内に広く活動を知ってもらえることになりました。そのため、口コミで食糧支援や食事支援の問い合わせも地域を問わず多くありました。また、活動に興味を示してくれた方の見学が多く、寄贈品が例年より多くありました。また、沖縄県内外から会議や研修会への参加依頼が多い一年でした。</p> <p>県内各地の居場所と連絡を取り合うようになって事業内容を詳しく聞くようになってからから、遠方から利用したいという希望者の方にその方の近くの居場所を紹介することが出来るようになったのもとても良かったと感じています。また、居場所で起こった困ったことなども教えて頂けるのでとても参考になりました。利用している子ども達も日常的な支援で生活に安心を得ることが出来ていると表情から感じています。</p>
----------------------------	--

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

<p>課題を取り巻く変化</p>	<p>コロナ禍という今まで経験したことがない状況下で不安が先行する1年でしたが、困った時にすぐに対応できる民間団体ならではの利点を活かしてスムーズな対応が出来たことで民生委員、SSW、児童民生委員、ファミリーサポートセンターなどの緊急を要する支援、特に濃厚接触者となってしまったひとり親世帯の支援に答える事が出来ました。コロナで繋がりが持ちづらい環境と繋がりがあからこそその支援できる強みが見えたと思います。利用者の方々からも困っていな人がいるので紹介してもいいですかという問い合わせが多かったので、これからも何かあれば頼って良い場所という認識が強まるような活動を続けていく必要を感じました。行政関係に支援を求めるときに必要な手続きが必要ない事も利点でした。これからの活動も「すぐ困っている人」だけではなく「ちょっと困っている人」へも支援できる居場所として、また居場所同士の横の繋がりの懸け橋となれる団体としての活動をしていきます。</p>
------------------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
助成を元気にする会（ゴージャス理恵）（那覇市）	大型の棚の設置 月に1度以上情報交換をし、助成金情報を共有 物資の提供 今後連携してイベント等を行うことが出来ないか相談
宜野湾げんき食堂（宜野湾市）	業務用冷蔵庫の設置 食品補完用棚の設置 お互いに物資情報や物資事態の提供・共有 イベント協力 助成金情報の共有
子どもの居場所こぼんち（那覇市）	冷蔵庫・棚の設置 実施状況の聞き取り現地視察 運営方法や研修会情報の共有 代表の小林さんが那覇市社協のスタッフとしても働いているため社協としての話と居場所としての話など現場に沿った立場で情報共有
3ピース58（沖縄市）	業務用冷蔵庫の設置 農作業のお手伝いをしながら本業の視察 現地視察 子どもの居場所立ち上げの為日常的に相談にのる 子どもの居場所立上の為市役所に相談立ち合い、市議への相談に立ち会う、支援をしてくれる団体として困窮者支援ネットワークの支援を受けて人件費の捻出、子どもの居場所としての活動の支援の為お弁当作りや配布方法などを相談
夢空間たんぼぼ（沖縄市）	冷凍庫の設置 くじら寺子屋に一番近く平日毎日子どもの受け入れをしているので日常的に食糧の情報を提供し物資を配達
KOZA子どもの居場所プロジェクト（沖縄市）	子どもの居場所立上げ相談 物資の提供 くじら寺子屋がボランティアが必要な時に手伝いに来てくれました 情報交換
ファミリーサポート（沖縄市）	物資の提供（沖縄市の福祉の委員を代表者の与座さんと一緒にしているので委員会の時などに物資が必要かなどの聞き取り）
沖縄市母子会	物資の提供
沖縄市子どもの居場所 6か所	物資情報の提供 物資の受け渡し
沖縄県内子どもの居場所 6か所（困窮者支援ネットワーク）	子どもの居場所運営相談 学習支援の方法の相談研修 物資の提供 物資の受取 助成金情報の共有
沖縄市社会福祉協議会	地元企業からの物資や寄付の受取 定期的な支援のコーディネート
那覇市社会福祉協議会	沖縄県内企業からの物資の受取 助成金情報の受取
Eスペース（パチンコ店）	定期的な大量のお菓子の寄贈（コーディネート沖縄市社協）
JAおきなわ ちゃんぷるー市場	定期的な野菜の受取（コーディネート沖縄市社協）
彩果園（八百屋）	不定期の売れ残り野菜の受取（コーディネート沖縄市社協）
泡瀬メモリアルパーク（墓地）	祭事のお供え物の寄贈（コーディネート沖縄市社協）
おきなわ子ども未来ランチサポート	週3回利用者人数分の菓子パン・お菓子・物品の受取
中部電企業組合	毎年寄付の受取
沖縄銀行	パソコンの寄贈の受取
琉球銀行	寄付の受取
沖縄県社会福祉協議会	助成金情報・寄付情報の受取
ケンタッキー・フライド・チキン	チキンの寄贈受取

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	2,561,800	2,582,206	100.8%
	管理的経費	380,200	395,939	104.1%
合計		2,942,000	2,978,145	101.2%

<p>補足説明</p>	
-------------	--

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無料プログラミング教室の取材として 沖縄タイムス8月22日 リゅうぎんグッドニュース10月9日放送 食事支援無料お弁当配布（ロータリークラブ提供） 琉球新報2021年6月18日 JAおきなわ共済食料提供 贈呈式取材
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	くじら寺子屋チラシ
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	備品として購入したものにシンボルマークの設置。
4.報告書等	HPの作成

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	整備中	今年度中に一般社団法人への移行が3月14日に完了しました。HP作成情報公開（作成途中）、Facebookでの公開になっています。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		任意団体として活動していましたが、一般社団法人として法人格を取得しました。取得に当たり、役員の方や社員の方と団体の方向性を確認することが出来ました。
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	一部未公開	一般社団法人になったこと：公開済み 定款：公開済 食品衛生責任者取得：公開
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更があり報告済	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	いいえ	スタッフが少人数なので設置していません。助成金や補助金をもらう度にスタッフ全員を情報共有しています。ただ、方向性の確認や事業内容について沖縄市社会福祉協議会や市役所と話し合いの場を設けています
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	スタッフ間で情報を共有を日々行い、方向性を話し合いました。
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部監査	沖縄市の補助金をもらっているため、沖縄市のチェックを毎月受けています。内部監査は、年度の報告書がすべて終了後スタッフ全員と確認予定です。
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	会計帳簿や報告書はスタッフ全員が見ることが出来るようにしています。違和感や疑問点がある場合は、日々話し合える状態になっており常勤スタッフも少ないので窓口の設置はしていません。